

福井梅
梅花枝の集出荷行



三方地区で12月4日より、正月飾りの縁起物で需要の高い梅花枝の集出荷が始まりました。出荷日には、早朝から生産者の皆さんが家で選別した花枝を次々と集荷場所へ持ってこられ、職員が本数を確認しながら長さごとに仕分けし、市場出荷への荷造りを行いました。現在、梅花枝の出荷者は約70人おられ、16日までの集荷日6回で約140万本の集荷量となりました。

梅担当の村松帝史営農指導員によると「今年は、10月に発生した大型台風の影響で集荷量の減少が予想されていたが、最終的に昨年並みの集荷量となった。集荷量に協力して頂いた生産者に感謝します。」と話していました。

東浦みかん
生産者の負担軽減

農福連携事業



11月28日、担い手不足に悩む東浦のみかん園と福祉の向上を目指した敦賀市の農福連携事業で、障害者就労支援施設「ワークサポート陽だまり」の通所者10人が青空の下、東浦みかんの収穫作業を行いました。

これまでもみかんの実を間引く摘果作業や、みかんの袋詰め作業などを行っています。

井口政弘さん
農林水産生産局長賞受賞



平成29年度白干梅品評会表彰式が福井ウメ振興協議会主催のもと12月15日、三方五湖支店にて開かれ、農林水産省生産局長賞に井口政弘さんが受賞しました。

11月17日に梅加工体験施設で県、地元加工業者、経済連、市場関係者、JA職員らが熟度・選別・粒揃い・乾燥度の項目で、出品された32点を審査し入賞9点が選ばれました。

審査員を務めた梅の里会館奥村康宏館長は「出品された白干梅は年々品質のよいものが多く審査が難航した。今回の表彰で生産者の励みになれば嬉しい。」と話していました。

また、品評会終了後には、福井梅生産者大会も同時に開かれ、生産者や関係者約50人が出席し、梅の産地の維持及び更なる発展のため生産技術等の研修が行われました。

白干梅品評会の入賞者は次の通り

▽農林水産省生産局長賞＝井口政弘▽福井県知事賞＝市原哲夫▽福井ウメ振興協議会長賞＝川島保▽福井県経済農業協同組合連合会長賞＝磯辺智▽敦賀美方農業協同組合長賞＝原稔▽福梅社長賞＝松村登美江▽東海コープ事業連合賞＝深川俊二▽福井新聞社長賞＝岩崎英二▽日本農業新聞会長賞＝有限会社山田農園

収穫ボランティア 12月2日、敦賀市とみかん部会による東浦みかん収穫ボランティアが開かれました。県内の東浦みかんファン32人が参加し、3か所のみかん園にて黙々と作業をしていました。ボランティアの皆さんは、みかん農家が年々高齢化していて、高い枝に実ったミカンの収穫に苦労している話を聞き、少しでも農家の役に立とうと、木や脚立に登って収穫の手伝いを行っていました。夏にはみかんの摘果作業にも参加してくれています。

みかん園主の下野寿栄子さんは「今年は、表年でたくさんみかんが実った為、ボランティアの方が来て下さり、大助かりです。ほんとうにありがたいです。また来て下さると嬉しいです。」と話していました。



楠 営農指導員

明けましておめでとうございます。本年も営農情報局をよろしくお願いいたします。

1月の園芸作業



キャベツ

●球を押さえてみて、硬くしまったものから収穫してください。
※寒くなると葉中のアントシアンが増加して葉が赤紫色になる品種もありますが、特に問題はありません。



ブロッコリー

●花蕾が大きくなり、軟らかくならないうちに収穫してください。
●わきから出た花蕾を収穫する場合、茎の頂上部の花蕾を収穫して、化成肥料を施してください。



ハクサイ

●キャベツ同様、頭を押さえて硬くしまっているものから収穫してください。
●外葉をワラやビニールテープで縛っておくと、耐寒性が増します。



ネギ

●自家用の場合、収穫の際株元で刈り取ると再び葉が伸びてくるので、何度も収穫できます。



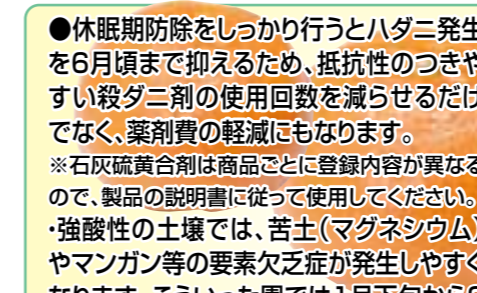
シュンギク

●寒さが厳しいと葉先が枯れます。1月に収穫する場合トンネル被覆してください。



ホウレンソウ

●耐寒性があり、とうが立ちにくい品種は1月から播けます。
●種子を一晩水に浸して翌朝水を切り、新聞紙の上などに広げ乾燥させてから種を播いてください。
●酸性には極めて弱いので、石灰質肥料を施しておいてください。



ミカン

●休眠期除をしっかりと行うとハダニ発生を6月頃まで抑えるため、抵抗性のつきやすい殺ダニ剤の使用回数を減らせるだけでなく、薬剤費の軽減にもなります。
※石灰硫黄合剤は商品ごとに登録内容が異なるので、製品の説明書に従って使用してください。
・強酸性の土壌では、苦土(マグネシウム)やマンガン等の要素欠乏症が発生しやすくなります。こういった園では1月下旬から2月にかけて、苦土石灰を10a当たり10~20kg施用してください。
また、微量元素を補給する場合は、FTE等を10a当たり4~6kg施用してください。



イチジク

●剪定は2月までに行ってください。
●枝の誘引は、寒い時期にすると枝が折れることがあるので、3月下旬から行ってください。